

学校だより

はまがわ

発行 H30年11月2日

校長 喜屋武 辰弘

いじめ0をめざして

いじめ防止対策推進法が施行され、学校はいじめ防止基本方針の制定が求められました。本校もいじめ防止方針作成して取り組んできました。校内組織の設置や未然防止のための取り組み、早期発見・早期解決に向けての取り組み、家庭・関係機関との連携等も積極的に取り組みました。今年は児童会が主体となって「いじめ0」に取り組みます。児童会全体のスローガンを掲げて、一人ひとりの人権意識の高揚をはかってために全校集会を予定しています。

集会ではいじめがなく、みんなが笑顔いっぱいの学校になるように各学級で宣言の発表も行います。

しかし、「いじめ」は、集団であれば、どこにでも起こりうるという認識のもと、各学年・学級では未然防止策として、以下の事に留意して取り組んでいます。

- 「いじめは人権侵害である」との認識に立ち、学級経営において「いじめは許さない」という断固たる教師の姿勢を示す。
- 児童生徒と共に集団生活に必要な「ルール・マナー」について考え、身につけさせる。
- 自己を肯定的に捉え、他者を尊重する心を育む。
- 人間的な関わりを通して、よさを認め合い、共感的な態度を育む。
- 様々な活動を通して、自己表現できる力やコミュニケーション能力を育む。



また、Q-U調査等を行い、その結果から個別に児童の声に耳を傾けてまいります。

裏面には、家庭でのチェック表があります。気になる事は早めにご連絡くださるようお願いいたします。

*Q-U調査とは、『楽しい学校生活を送るためのアンケート』のことです。学級への学校生活満足度や意欲等や学級集団の中での位置等の情報が得られます。満足度の低さや意欲が低下している児童の発見や不登校・いじめ・に合っている可能性の児童の発見に繋げ事ができます。

学習振り返り月間

本校では、11月は「学力向上月間」として取り組んでいきます。

10分～20分程度の時間を利用して、日頃定着できていない個所や基礎的・基本的事項を重点的に補習やドリルをします。・毎週火曜日と木曜日10分・11月12日(月)11月19日(月)20分を予定しています。

詳細は、別紙お知らせを配布いたします。低学年は、お迎えや学童等への連絡をお願いします。



以下について全校でそろえて取り組みますので宜しくお願いします。学習用具がそろわずに困っている児童がみられました(鉛筆、ノート、体育着、絵具セットなど)。

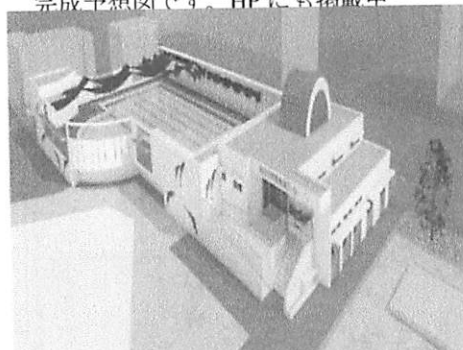
筆箱の中身をお子さんと一緒に再点検しそろえてあげてください。

用意する場合は、シンプルなものをお勧めします。そして、ぜひ週に一回は持ち物の点検をお願いします。

プール新築工事

学校では、来年3月を完成めどに着々と工事が進捗しています。

完成予想図です。HPにも掲載中



正面玄関には、版画家 名嘉睦稔氏の作品「ワライジシ」をモチーフにタイル画を予定しています。



11月

行事予定

- 4日 町民運動会
- 5日～9日 ケガバイバイ週間
委員会活動
- 8日 学年朝会
幼小(5年)交流
- 12日～16日
やさしい心週間
- 13日 出前講座(5年)
- 15日 感謝集会
授業参観日
- 16日 4年組踊見学
- 21日 修学旅行 6年
- 22日 修学旅行 6年
秋の遠足 1年～5年
- 23日 勤労感謝の日
- 27日 6年 オーストラリアとの
スカイプによる交流学習
- 28日 演劇鑑賞会
- 29日 児童集会

家庭におけるいじめ発見のためのチェックポイント

浜川小学校

- 学校へ行きたがらない。
- 「転校したい」や「学校をやめたい」と言い出す。
- イライラしたり、おどおどしたりして落ち着きがなくなる。
- 衣服の汚れが見られたり、よくケガをしたりしている。
- お風呂に入りたがらなかつたり、裸になるのを嫌がる。
- 学用品や所持品を紛失したり、壊されたりしている。
- 教科書やノートに嫌がらせの落書きをされたり、破られたりしている。
- 食欲がなくなったり、体重が減少したりする。
- 寝付きが悪かつたり、眠れなかつたりする日が続く。
- 愁いに満ち、表情が暗くなる。
- 部屋に閉じこもることが多く、ため息をついたり、涙を流したりしている。
- 先生や友だちを批判する。
- 親に隠し立てをすることが多くなる。
- 家庭から物品やお金を持ち出したり、余分な金品を要求したりする。
- 親しい友だちが家に来なくなり、見かけない者がよく訪ねてくる。
- 言葉遣いが荒くなり、親や兄弟、祖父母等に反抗したり八つ当たりをする。
- 外に出たがらない。
- 学校の様子を聴いても言いたがらない。
- 電話に敏感になる。
- 友達からの電話にていねいな口調で応答する。
- 不審な電話や嫌がらせの手紙や紙切れなどがある。
- テレビゲームなどに熱中し、現実から逃避しようとする。
- 親の学校への出入りを嫌う。
- 友だちのことを聴かれると怒りっぽくなる。
- 「どうせ自分はだめだ」などの自己否定的な言動が見られ、死や現実を逃避することに關心を持つ。

いじめられている事がわかった場合の保護者としての対応

- ・自己肯定感や自信を持てるような言葉かけ、激励をする。
 - ・家庭における「子どもの居場所を確保」する。
 - ・不安を除去し、安全の確保に努める。
 - ・「お父さんとお母さんは、最後まであなたを守る一緒に乗り越えよう」というメッセージを送る。
 - ・学校と連絡を密にし、家庭での様子などの些細なことでも学校側の話しやすい人へ（担任 養護教諭 教頭 校長）に伝える。
- 学校や担任に言えない場合、北谷町教育委員会でも可能です